

## 議事録

会議名	令和6年度 第5回運営推進会議																																																
開催日	令和7年1月22日																																																
開催時間	9:30～11:00																																																
開催場所	西京ふれあい地域福祉センター 2階 地域交流室																																																
出席者 運営推進委員	木村 厚様 (榎原学区社会福祉協議会 会長) 棚橋 和代様 (榎原学区民生児童委員協議会 会長) 野原 孝彦様 (西京区社会福祉協議会 事務局長) 濱野 知子様 (高齢サポート西京南部 センター長)																																																
近隣事業所 法人代表	大西 久美子様 (グループホーム安らぎ・さくら 計画作成担当)																																																
職員	齋藤 忠彦 (施設福祉推進室 担当室長 ) 柿迫 稔夫 (小規模多機能かたぎはら・グループホームかたぎはら施設長) 岩崎 由香里 (小規模多機能かたぎはら・グループホームかたぎはら副施設長) 山口 由美 (かたぎはらケアプランセンター管理者 )																																																
議題 利用状況報告	<p>利用状況報告 R6.12月末現在</p> <p>【小規模多機能かたぎはら】</p> <p>11月実績 登録25名 実利用24名(1名入院) 短期入所1名 5日間</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>介護度</td> <td>支援2</td> <td>介護1</td> <td>介護2</td> <td>介護3</td> <td>介護4</td> <td>介護5</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>0名</td> <td>2名</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>1名</td> <td>5名</td> <td>6名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> </tr> </table> <p>利用回数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>訪問 688回</td> <td>通い:延べ 313回</td> <td>泊り:延べ 36回</td> </tr> </table> <p>12月実績 登録 25名 実利用25名 短期入所 9日間</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>介護度</td> <td>支援2</td> <td>介護1</td> <td>介護2</td> <td>介護3</td> <td>介護4</td> <td>介護5</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>0名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>2名</td> <td>5名</td> <td>7名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> </tr> </table> <p>利用回数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>訪問:延べ 698回</td> <td>通い:延べ 329回</td> <td>泊り:延べ 42回</td> </tr> </table> <p>連泊者 0名</p> <p>過少サービス(週4回未満の利用者) なし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員上限まで利用者が登録されている。</li> <li>・11月より泊用の空床を利用して緊急ショートの受け入れを開始している。</li> </ul> <p>かたぎはらケアプランセンターの利用者が緊急利用し、そのまま小多機の待機者となった。</p>	介護度	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	男性	0名	2名	1名	3名	0名	1名	女性	1名	5名	6名	2名	3名	0名	訪問 688回	通い:延べ 313回	泊り:延べ 36回	介護度	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	男性	0名	2名	0名	3名	0名	1名	女性	2名	5名	7名	2名	3名	0名	訪問:延べ 698回	通い:延べ 329回	泊り:延べ 42回
介護度	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5																																											
男性	0名	2名	1名	3名	0名	1名																																											
女性	1名	5名	6名	2名	3名	0名																																											
訪問 688回	通い:延べ 313回	泊り:延べ 36回																																															
介護度	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5																																											
男性	0名	2名	0名	3名	0名	1名																																											
女性	2名	5名	7名	2名	3名	0名																																											
訪問:延べ 698回	通い:延べ 329回	泊り:延べ 42回																																															

【グループホームかたぎはら】 R7.1月1日現在

入居者数 17名(男性2名・女性15名) 11月21日 1名看取りにより退居

介護度	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男性	0名	0名	1名	0名	1名	0名
女性	0名	3名	4名	5名	3名	1名

活動報告

活動報告 R6.11-12月 別紙参照(広報誌参照)

【小規模】

- ① ぐれいぶマルシェ
- ② ふれあい祭り
- ③ かたぎはらフェスタ
- ④ 紅葉ドライブ
- ⑤ 誕生日会
- ⑥ クリスマス飾り(地域交流)
- ⑦ 福西児童館来所
- ⑧ クリスマス会(ボランティア来所)
- ⑨ 門松づくり

【GH】

- ① ほんわか広場(公園体操)
- ② ふれあい祭り
- ③ かたぎはらフェスタ
- ④ 中央看護コスモス祭
- ⑤ 紅葉ドライブ
- ⑥ 中央看護ボランティア来所
- ⑦ クリスマス飾り(地域交流)
- ⑧ 家族交流会(12/15. 22日)

広報誌等で説明させていただいた。

## 【小規模多機能かたぎはら】

	事故	ヒヤリ	苦情
11月	1件	2件	1件
12月	1件	2件	1件

## 【事故】 物損2件

11、12月度における事故発生件数は計2件でした。  
いずれの物損も施設の物品が破損したケースです。一つは普段お白湯を提供する際のポットが手を滑らせたことで落下し破損いたしました。対応策として取手付きの蓋がしっかりと閉まっていることを確認して持ち運ぶなど安全対策を講じています。

## 【ヒヤリ】 物品間違い2件 誤飲件 転倒1件

11、12月度におけるヒヤリハット報告件数は計4件でした。抜粋し報告します。  
介助者よりも体格の大きな利用者様が立ち上がり移動する際に、バランスの保持が不安定なため、ベッドに座り込み転倒に繋がりがけたケース。真横にベッドがあったため転倒には繋がらなかったが、転倒に至れば双方が負傷する可能性もあったためヒヤリハットとして報告。バランスを取る際の支援方法が職員ごとに異なる意見が聞かれたので、職員間で観察や協議を引き続き実施することにしました。  
口腔ケア後に義歯のケースに誤って片付けてしまったケース。発生した際はもう一方の利用者様が不在であったので、混入には繋がらずヒヤリハットとして報告しています。義歯を片付ける際はケースに記された名前を確認を徹底し、所定の位置に戻す際にも再確認をするよう周知しています。

## 【苦情】 雨天送迎時1件 鍵の取り扱い1件

11、12月度において苦情報告件数は計2件でした。  
雨の日の送迎時に合羽を使用せず本氏が濡れていた事、パッドが前後逆に装着されていたことによる家族様からの苦情。当館出発時に雨が上がっていたため、雨合羽を着用せず出発し自宅到着時に本降りとなっており、傘を使用し急いで自宅まで送り届けたが上着やひざ掛けがかなり濡れてしまった。送迎職員が帰所後に電話連絡あり職員間で合羽などの雨避けの周知はされていないのか指摘をいただき謝罪する。加えてパッド装着が前後逆になっていたことも発覚し、改めて帰宅前のトイレ案内時に確認の徹底と職員間にも再周知する事をお伝えしました。再発防止について職員間で協議し送迎車に雨避けのシートの常備や、パッド装着時は再確認を徹底しました。  
もう1件は当日朝に訪問リハビリの方からの電話連絡により発覚。普段キーボックス内の鍵を使用し自宅内の支援に入るが、前日に家人様が訪問されており見送りや施錠含めて家人様が実施され、前日の送迎職員は連絡袋内に鍵を入れた状態で辞去したことにより鍵を閉じ込めた状態になった。家人様より「信頼して鍵の管理を任せているのにいい加減な対応をされると困ります」とお叱りをうける。CMIにも連絡し自宅外から開いている場所より入室出来ないか提案があり、訪問すると寝室にいたご本人と会うことができ開錠し支援をおこなえた。当日夕方に家人様が対応策を講じておられ、従来の自宅鍵と勝手口の鍵を一緒にしている状態をやめ分離させることで、万が一今回のような閉じ込みが発生した際でも入室できる状態になった。同日の夜に担当CMIに入電があり、改善策のお礼と今回の件について謝罪をおこない職員間の周知徹底と意識統一を図ることで終話。後に職員間においても鍵を分離する再発防止策が講じられたことと、信頼して管理させていただいている責任感について再周知しています。

**【グループホームかたぎはら】**

	事故	ヒヤリ	苦情
11月	8件	1件	0件
12月	15件	3件	0件

**【事故】 内出血11件 転倒・転落7件 誤嚥1件 異食1件  
服薬確認漏れ1件 物損2件**

11、12月度における事故発生件数は計23件でした。抜粋し報告します。

事故報告の約半数は原因不明内出血の報告となっています。また、11件中6件が同一の入居者様の報告となっています。抗凝固薬の服用もあり、以前より手背・前腕部に内出血報告が多かったため、ベッド柵カバー、椅子手すりのクッション材保護などの対策を講じています。介助時の注意喚起に加え、新たにアームウォーマーの着用にてリスク低減に努めています。

転倒・転落の発生状況として、フロア3件、居室内3件、トイレ内1件でした。夜勤帯の居室内や他者対応中に4件発生しています。夜間トイレ内で発生したケースについては、転倒時に左顎を裂傷し日中に受診、ステープラーで5針固定の処置を受けています。

誤嚥について、朝食提供後に顔面蒼白となっているのを発見したケース(トースト、シチュー)。ハイムリック法を実施して症状改善しています。義歯がなく普段より歯茎で咀嚼されている為、食べやすいサイズに刻んで提供を行っていましたが、今回の事故を受けて食材に応じた形態の見直しを行うことで再発防止に努めています。

異食について、クリスマス飾りを入居者様と一緒に制作中、職員が席を離れた際に箱型の発泡スチロールをかじり、咀嚼されているのを発見したケース。すぐに口腔内の発泡スチロールを除去し誤飲には至りませんでした。職員が席を離れる際には食べ物と誤認しやすいもの、口に入りそうなものは極力置きっぱなしにしないようにするよう周知し、再発防止に努めています。

**【ヒヤリ】転倒3件 異食1件**

11、12月度におけるヒヤリハット件数は計4件でした。

転倒リスクについて、立ち上がりの際にバランスを崩されたが支えることで転倒を防ぐ事が出来たケースなどの報告となっています。また、通路に段ボールの空き箱を置きっぱなしにしていたことで、空き箱に座ろうとされたが未然に防ぐ事が出来たケースも報告として上がっています。このケースについては通路などの環境の見直しを行うことでリスク低減に努めています。

異食リスクについて、食事時にティッシュを畳んで食器の上に置かれていたものを箸で掴んで食べようとされたケース。他者食事介助中の職員が気づき、口腔内に運ぶ前に対応ができています。今回の報告を受けて、見守りがしやすい位置への座席変更や手の届く範囲に使用済みティッシュのくず入れなどを置かない等の対策を講じています。

**【苦情】0件**

委員会活動

身体拘束適正化委員会

虐待防止委員会

12月12日(木)17:45～

「身体拘束・プライバシー保護」について研修を行った。近隣事業所からの参加もあり実際に自分たちが体験しながらグループワークを行った。

○夜間の身体拘束について質問があった。

→現在かたぎはらでは、機械を利用する方法での安全対策は実施していない。人の目での対応に取り組んでいる

→安らぎや、さくらでもそのストレスをかかえている。さくらや安らぎはセンサーマットを利用して夜間の対応をしている。センサー利用により安全が保たれる部分もあるが、優先順位がついてしまい、矛盾も感じている。

○役員として地域におられる方にどこまで手助けしてよいかわからない

→包括とケアマネなどが地域で困られている方の支援に取り組んでいる。困りごとがあれば包括に相談して欲しい。すでに支援に取り組んでいる場合もある(包括濱野センター長)

その他

地域交流、内部研修等について別紙で説明させて頂いた(別紙参照)

- 1 内部研修:唄って踊ってセルフケア
- 2 京都中央看護保健大学校ボランティア来所
- 3 内部研修:認知症(身体拘束・プライバシー保護)
- 4 グループホーム家族交流会第2回
- 5 クリスマス玄関飾り
- 6 クリスマスイベント(福西児童館来所)
- 7 玄関門松作り
- 8 内部研修:唄って踊ってセルフケア
- 9 地域包括ケア全体研修会:事例報告

それぞれの委員から意見をいただく。

→檜原社協だよりが発行されました。小規模多機能かたぎはらの施設紹介をいれた。まだ、部数があるので、事業所などにも配布したいと思っている。

小規模多機能  
サービス評価

事前にお渡しいていた資料をもとに総括表の作成を行う

B→わかりにくい、通り過ぎてしまう、目立たないなどのご意見をいただく

C→すこやか学級や女性会にも講師として介護保険や、サービスについての話をしてもらっている。地域の相談窓口になれるように努力されている等の意見をいただく

D→動物とのふれあいが高齢者によいのではないかと(移動動物園)意見をいただく

F→自主防災と施設が上手く連携できる仕組みを検討したいと意見をいただく